



2024年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月3日

上場会社名 川口化学工業株式会社
コード番号 4361
代表者(役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者(役職名) 取締役経理部長
四半期報告書提出予定日 2024年4月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
URL <https://www.kawachem.co.jp>
(氏名) 山田 秀行
(氏名) 本間 義隆 (TEL) 048-222-5171
配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期第1四半期の連結業績(2023年12月1日~2024年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第1四半期	1,999	△2.5	67	45.2	66	45.7	49	20.8
2023年11月期第1四半期	2,051	5.6	46	△59.2	45	△61.0	41	△56.8

(注) 包括利益 2024年11月期第1四半期 48百万円(4.4%) 2023年11月期第1四半期 46百万円(△49.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第1四半期	40.79	—
2023年11月期第1四半期	33.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年11月期第1四半期	8,074	2,626	32.5
2023年11月期	8,340	2,638	31.6

(参考) 自己資本 2024年11月期第1四半期 2,626百万円 2023年11月期 2,638百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2024年11月期	—	—	—	—	—
2024年11月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年11月期の連結業績予想(2023年12月1日~2024年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,500	7.0	140	△10.5	140	△10.4	90	△25.5	73.92
通期	9,000	4.5	300	△15.2	300	△12.9	200	△21.7	164.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年11月期 1 Q	1,200,000株	2023年11月期	1,220,000株
② 期末自己株式数	2024年11月期 1 Q	2,531株	2023年11月期	2,531株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年11月期 1 Q	1,217,469株	2023年11月期 1 Q	1,217,469株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、エネルギー価格及び原材料価格の高止まり、長期化するロシアによるウクライナ侵攻、中東情勢の悪化、中国経済の停滞により依然として不透明な状況が続いています。

米国では、賃金上昇と良好な雇用環境を背景に個人消費を中心に景気は堅調に推移しました。また、中国においては、個人消費の低迷と不動産市場の悪化により景気は低迷しました。

日本経済は、個人消費の持ち直し、インバウンド需要の回復、円安による企業業績の改善が見られ、緩やかな景気回復が継続いたしました。

当社グループに関係の深い自動車産業においては、半導体等の部品供給が改善され国内自動車生産は好調に推移いたしました。

このような環境の中、当社グループは2022年を起点とする中期経営計画（第121期「2022」から第125期「2026」まで）「ACCEL2026－革新を強力に推進し、成長を加速する」で策定した目標の実現に向け、当社が得意とする合成技術を活用し、受託合成品の拡大、新製品開発の推進及び市場拡大への挑戦を更に進めるうえで、生産能力の増強を目的に既設マルチプラントへの設備投資を決定いたしました。

市場環境の変化を的確に捉え、顧客ニーズの変化に迅速かつ柔軟に対応し、経営資源の効率化とコストダウンを全社規模で取り組んだうえで、コスト増に対応した製品価格の設定を実施し、企業価値を高める活動を積極的に行いました。

ゴム薬品の販売は、中国市場低迷の影響を受けましたが、半導体等部品供給の制約が緩和され自動車生産台数が堅調に回復した結果、売上は前年同期を上回りました。樹脂薬品、中間体、その他薬品については市場低迷の影響を受け売上は前年同期を下回りました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は19億99百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益は67百万円（同45.2%増）、経常利益は66百万円（同45.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は49百万円（同20.8%増）となりました。

セグメント業績の概況は次のとおりであります。

①化学工業薬品事業

売上高は19億90百万円（同2.6%減）、セグメント利益（営業利益）は59百万円（同53.9%増）となりました。

②不動産賃貸事業

売上高は9百万円（同0.5%増）、セグメント利益（営業利益）は7百万円（同0.6%増）となりました。

（化学工業薬品事業の部門別の概況）

<ゴム薬品>

ゴム薬品の分野において、国内の工業用品向け製品は、自動車関連産業の世界的な半導体不足が緩和し国内の自動車生産が総じて堅調に推移し自動車部品関連向け製品を中心に売上は増加しました。

また、タイヤ向け製品は、主力製品の販売が低迷し売上は前年同期を下回りました。合成ゴム向けは、中国を中心とする海外市場の需要低迷の影響を受けましたが、スポット販売製品を受注することができ、全体では売上は前年同期を上回りました。医療用ゴム用途製品は、緩やかに需要が回復し主力製品を中心に売上は前年同期を上回りました。

海外向けは、中国向けを中心に汎用製品及び医療用途向け製品の販売が低迷しましたが、特殊製品を新規分野に販売することができ、売上は前年同期を上回りました。

この結果、国内・輸出合わせてのゴム薬品部門合計の売上高は11億71百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

<樹脂薬品>

樹脂薬品の分野は、主要販売先であるアクリル酸・アクリル酸エステルの需要が国内、海外共に低迷する中、国内向けは前年同期並みの売上を確保することができましたが、海外向けは中国を中心に主力製品の売上が大きく減少しました。電子材料関連向け製品は緩やかな需要の回復がみられましたが、売上は前年同期を下回りました。

この結果、樹脂薬品部門合計の売上高は2億9百万円（同5.6%減）となりました。

<中間体>

中間体部門においては、農薬中間体は需要が低迷し主力製品の売上は前年同期を下回りました。医薬中間体は、医療用途脱水縮合剤の通期での売上は前期を上回る見通しですが、当第1四半期では前年同期を下回りました。界面活性剤中間体は、顧客の需要が回復し売上は前年同期を上回りました。染顔料用途製品は需要低迷により売上は前年同期を下回りました。

この結果、中間体部門合計の売上高は2億44百万円（同22.5%減）となりました。

<その他>

当社が得意とする合成技術を基盤とするレンズ用途向け特殊添加剤、電子材料向け製品の販売は通期では前期並みの売上を見込んでいますが、当第1四半期では前年同期を下回りました。

品質・技術に優位性を持つ電子材料用途脱水縮合剤は需要低迷の影響を受け、売上は前年同期を下回りました。

環境用薬剤の販売は、顧客での需要減少の影響を受け売上は前年同期を下回りました。

この結果、この部門合計の売上高は3億65百万円（同6.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産につきましては80億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億65百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が1億38百万円、受取手形及び売掛金が3億35百万円、有形固定資産が83百万円減少したことに対し、棚卸資産が2億81百万円増加したことによります。

負債につきましては54億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億53百万円減少いたしました。これは主に、流動負債その他の未払費用が1億75百万円、設備支払手形が75百万円減少したことによります。

純資産につきましては26億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が11百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月期の連結業績予想につきましては、2024年1月15日に公表いたしました連結業績予想数値からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,043,816	905,814
受取手形及び売掛金	3,080,334	2,744,509
商品及び製品	1,095,822	1,233,932
仕掛品	412,440	438,242
原材料及び貯蔵品	367,593	485,583
その他	21,706	35,335
貸倒引当金	△5,236	△4,665
流動資産合計	6,016,478	5,838,753
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	1,016,557	960,003
その他(純額)	1,102,631	1,076,061
有形固定資産合計	2,119,188	2,036,065
無形固定資産		
その他	18,278	17,307
無形固定資産合計	18,278	17,307
投資その他の資産		
その他	187,947	184,112
貸倒引当金	△1,300	△1,300
投資その他の資産合計	186,647	182,812
固定資産合計	2,324,115	2,236,185
資産合計	8,340,594	8,074,939
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,446,876	1,405,218
短期借入金	2,160,000	2,320,000
1年内返済予定の長期借入金	430,556	433,336
未払金	255,391	196,439
未払法人税等	36,370	24,640
未払消費税等	107,916	22,231
賞与引当金	—	54,336
役員賞与引当金	16,200	1,350
その他	308,612	63,097
流動負債合計	4,761,923	4,520,649
固定負債		
長期借入金	534,762	516,148
役員退職慰労引当金	79,950	79,278
退職給付に係る負債	194,988	206,353
その他	130,545	126,233
固定負債合計	940,246	928,013
負債合計	5,702,170	5,448,662

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	58,437	58,437
利益剰余金	1,881,096	1,869,882
自己株式	△8,202	△8,202
株主資本合計	2,541,332	2,530,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,890	43,332
為替換算調整勘定	50,201	52,825
その他の包括利益累計額合計	97,091	96,158
純資産合計	2,638,424	2,626,277
負債純資産合計	8,340,594	8,074,939

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年12月1日 至2023年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年12月1日 至2024年2月29日)
売上高	2,051,990	1,999,928
売上原価	1,719,648	1,641,878
売上総利益	332,342	358,050
販売費及び一般管理費	285,837	290,547
営業利益	46,504	67,502
営業外収益		
受取利息	629	481
受取配当金	1,258	970
貸倒引当金戻入額	58	571
為替差益	—	1,143
その他	2,093	1,136
営業外収益合計	4,039	4,304
営業外費用		
支払利息	4,333	4,551
為替差損	222	—
その他	15	279
営業外費用合計	4,572	4,830
経常利益	45,971	66,975
税金等調整前四半期純利益	45,971	66,975
法人税、住民税及び事業税	6,258	19,065
法人税等調整額	△1,405	△1,749
法人税等合計	4,853	17,316
四半期純利益	41,118	49,659
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	41,118	49,659

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年12月1日 至2023年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年12月1日 至2024年2月29日)
四半期純利益	41,118	49,659
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,076	△3,557
為替換算調整勘定	1,485	2,624
その他の包括利益合計	5,561	△933
四半期包括利益	46,680	48,726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,680	48,726
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,042,442	—	2,042,442	—	2,042,442
その他の収益	—	9,547	9,547	—	9,547
外部顧客への売上高	2,042,442	9,547	2,051,990	—	2,051,990
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,042,442	9,547	2,051,990	—	2,051,990
セグメント利益	38,859	7,645	46,504	—	46,504

(注) 1. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,990,333	—	1,990,333	—	1,990,333
その他の収益	—	9,595	9,595	—	9,595
外部顧客への売上高	1,990,333	9,595	1,999,928	—	1,999,928
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,990,333	9,595	1,999,928	—	1,999,928
セグメント利益	59,808	7,693	67,502	—	67,502

(注) 1. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計
顧客との契約から生じる収益	2,042,442	—	2,042,442
ゴ ム 薬 品	1,113,751	—	1,113,751
樹 脂 薬 品	222,395	—	222,395
中 間 体	315,045	—	315,045
そ の 他	391,250	—	391,250
その他の収益	—	9,547	9,547
外部顧客への売上高	2,042,442	9,547	2,051,990

当第1四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計
顧客との契約から生じる収益	1,990,333	—	1,990,333
ゴ ム 薬 品	1,171,421	—	1,171,421
樹 脂 薬 品	209,879	—	209,879
中 間 体	244,006	—	244,006
そ の 他	365,025	—	365,025
その他の収益	—	9,595	9,595
外部顧客への売上高	1,990,333	9,595	1,999,928

(重要な後発事象)

該当事項はありません。